

中学生 戸田 七海 14歳

最近、本の中身をダウンロードして読む、電子書籍というのがあります。そこで、本と電子書籍について考えてみました。

電子書籍は持ち運びも便利だし、いろんな本を読めるし、場所をとりません。文字を大きくすることもできます。

それに比べて、本はかさばるし、持ち運びも不便です。ですが、本には、機械とは違う、紙から伝わってくる筆者の気持ちや温かみがあります。

中国新聞

小学生 寄野 朋花 12歳

いじめは自分に関係ないと思って、見ているだけの人が多いと思います。どうして、助けようと思わないのでしょうか。

自分ひとりでなく、友達で助けられないでしょうか。ひとりだから「今度自分がいじめられてしまう」と思ってしまうのです。

いじめている人も、理由がない人はいないと思います。気持ちを聞き、いじめている人といじめられている人をつなぎとめる役目を、誰かがし

温かみ伝わる紙の本

す。

自分の手に持って、ページをめくって読む。これが本を読む本来のスタイルだと思います。以前ニュースで、おばあちゃんが「もしも本が消えてしまったら、私はとってもさみしいわ」とコメントしているのを見ました。私も同じ気持ちです。

世の中は、今この瞬間もどんどん変化しています。でも、この世界から、どうか本が消えませんか。人々が本のぬくもりを忘れないために。

(福山市)

ヤングスポット

なくてはなりません。

私たちのグループの中でも悪口を言うことがあります。その時、「人のことはいいけど、次は自分では」と思っていました。

その時、誰かがひとこと「やめようよ」と言えば、やめられたのにとおもいます。「自分があの時言えばよかった」と、みんな思っていたかもしれません。私はあの日の見ているだけの自分ではなく、「やめよう」のひとことが言える自分になりたいです。

(広島市安佐北区)

悪口止める勇気持つ